

研究課題 (テーマ)	ゆきみらい 2019 における除雪に関する研究成果の発信		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	講師	寺島 修

研究結果の概要

平成 30 年度の研究教育成果情報発信の支援を受け、平成 31 年 2 月 7 日、8 日に山形県新庄市で開催された雪国の生活の未来を考えるシンポジウム「ゆきみらい 2019」に参加しました。参加の目的は、(1) 申請者が取り組んでいる除雪作業に関する研究成果の発信 (富山県・元気な雪国づくり助成事業の紹介も含む)、(2) 本学の紹介・本学独自の取り組みの紹介、(3) 申請者の研究室の紹介、の 3 点です。



2 月 7 日、8 日に新庄駅併設の施設、「ゆめりあ」、にて開催されました見本市にて、富山県立大学のブースを出展し、上記の(1)-(3)について主にポスターを用いて来場者に紹介いたしました(図 1 ご参照)。また、大学の各種パンフレット、研究室ガイドブック、受験生向けの資料をブースにて配布いたしました。駅を利用する幅広い世代の方々へ研究成果等を紹介することができました。また、高校生を対象に本学の紹介や本学を紹介するパンフレットの配布も行うことができました。加えて、我々と同様にブースを出展している企業の方々へも研究紹介を行うとともに、研究室ガイドブックを配布し、産学連携のきっかけづくりを行うことができました。

2 月 8 日には新庄市民文化会館にて開催されました研究発表会にて上記(1)を行いました。図 2 に示しますポスターセッション会場にて、図 3 に示すように研究紹介用のポスターを掲示し、来場者へ研究紹介を行いました。取り組み内容のユニークさや富山県の助成制度としてこのような研究を行っている点で好評をいただきました。



今後の展開

今回の「ゆきみらい 2019」への出展により多くの成果が得られましたので、引き続き研究を推進する「除雪時の心理・肉体的ストレスを軽減する方法」の研究成果を 2020 年以降のゆきみらいイベントにて発表します。今回はポスター発表のみでしたが、次回はポスター発表に加え、口頭発表・論文発表も行う予定です。なお、出展ブースでは一人での対応が難しい点もございましたので、来年以降参加する場合は学生の皆様にも説明員としてご参加頂く予定です。